

## 政調会長代理の

# 国会最前線報告

二期目の当選を果たし、衆参31人の国会議員を擁する政党になったみんなの党の政調会長代理に就任しました。初当選した4年前は衆院議員5人でスタートしたのだから、隔世の感があります。現在、浅尾慶一郎政調会長の下、予算委員会の論戦や日本維新の会との政策協議に臨んでいます。

2月8日の予算委員会では安倍総理への初質問に立ちました。大胆な金融緩和を打ち出したいいわゆる「アベノミクス」が期待感をもたらし、株高と円安が進んでいます。デフレ脱却に向けた日銀の金融政策の転換はみんなの党が結党当初から掲げてきたものであり、安倍総理がみんなの党の政策を取り入れたと言っても過言ではなく、大いに評価できるものです。

一方、いわゆる「三本の矢」の一つの「機動的な財政出動」として提案された13兆円の補正予算。その中身を見ると、とんでもない「霞ヶ関強朝化」のバラマキ予算になっていきます。省庁や独立行政法人の施設整備費、不要不急の基金への追加拠出、官民ファンドへの出資。兆円の大型補正ありきで計上した結果、「90%が効果の

乏しいバラマキ」と会計検査院に指摘されたばかりの基金事業に550億円もドーンと積み増すなど、一体、誰がどこで査定しているのかと首を傾げたくなるような予算のオンパレードです。私の質問に、閣僚は苦しい答弁に終始。「これでは『増税してばらまけば経済成長する』という菅総理の珍理論と同じではないか」と言うと、「そうだ！」と声が飛びました。テレビや新聞でも大きく取り上げられ、結果として私が指摘した歳出項目を削った修正案を民主党等と共同提出する事にもなりました。安倍総理の経済政策の多くは私達も賛成できるものです。デフレ脱却と

経済建直しに与党も野党もありません。一方、補正予算のような問題点は遠慮なく指摘させて頂き、対案を出して改善を求めます。政策本位の提案型政党として存在感を発揮したいと思えます。



▲南三陸町の被災者のお母さん達がミシンで作ったバッグを手に「復興」を訴える（3月13日）

計上した結果、「90%が効果の

乏しいバラマキ」と会計検査院に指摘されたばかりの基金事業に550億円もドーンと積み増すなど、一体、誰がどこで査定しているのかと首を傾げたくなるような予算のオンパレードです。私の質問に、閣僚は苦しい答弁に終始。「これでは『増税してばらまけば経済成長する』という菅総理の珍理論と同じではないか」と言うと、「そうだ！」と声が飛びました。テレビや新聞でも大きく取り上げられ、結果として私が指摘した歳出項目を削った修正案を民主党等と共同提出する事にもなりました。安倍総理の経済政策の多くは私達も賛成できるものです。デフレ脱却と

経済建直しに与党も野党もありません。一方、補正予算のような問題点は遠慮なく指摘させて頂き、対案を出して改善を求めます。政策本位の提案型政党として存在感を発揮したいと思えます。

3月13日は震災2年を機に「復興」の質問。「南三陸ミシン工房のお母さん達の「おらほもあんだほもがんばっぺし！ Bag」を紹介、就労の場と生きがいをもたらす活動こそ「復興」と訴えました。「2019ラグビーW杯日本大会の試合を釜石で」の提案にはラグビー協会会長の森喜朗元総理から御礼のお電話がありました。国会の最前線での日々が今後も続きます。

### 柿沢未途PROFILE

- 昭和46年1月21日生まれ
- 江東区立数矢小学校卒業
- 麻布中・高、東京大学法学部卒
- NHK記者、長野五輪を担当
- 都議会議員2期
- 2009年衆院選比例復活で初当選
- 3年間で行った260回超の国会質問は全国議員中最多
- 2012年衆院選小選挙区で2期目の当選



# 地下鉄は誰のものか

昨年12月の衆院選と同時に行なわれた東京都知事選挙で猪瀬直樹知事が誕生しました。実は猪瀬知事とは同じ政策テーマを掲げています。「地下鉄の統合・一元化」がそれです。

皆さんご存じの通り、都内には東京メトロ(旧営団地下鉄)と都営地下鉄の2つの別々の地下鉄が走っています。同じ駅に2人の駅長がいて、利用者は乗換え運賃を払い、しかもわざわざ改札を出て遠回りして乗換えなければなりません。これを疑問に思っている都民は多いと思います。

営団地下鉄から2004年に民営化された東京メトロ(東京地下鉄株式会社)。国が53・4%、都が46・6%の株式を保有する特殊会社です。社長は長年、国交省の天下り官僚が務めてきました(現在は内部昇格の奥義光氏)。そして副社長は元東京都副知事の天下りです。

古くは昭和2年に開業した銀座線をは

じめ、都内に地下鉄9路線を網の目のように走らせてきた東京メトロ。建設から長い歳月を経て、ほとんどの路線の減価償却が終わっていて、走れば走るほど儲かる経営構造になっています。平成21年度の売上3500億円、

経常利益700億円。蓄えた利益剰余金は民営化後2100億円まで膨れ上がっています。

このような「隠れた超優良企業」であるにもかかわらず、その利益をどのように使っているか。何と天下りネットワークの形成に使っているのです。東京メトロの子会社は12社。しかもやっているのは駅ビル事業やマンション経営、ゴルフ練習場の経営です。役員41人のうち39人がメトロ本体からの天下り。役員報酬の平均は1205万円です。

その一方で東京メトロの駅のエスカレーター・エレベーター設置のバリアフリー進捗状況(1日平均利用者50

00人以上の駅)は首都圏の他の鉄道会社より際立って低く、江東区を走る東西線の混雑率200%というぎゅうぎゅう詰めの満員電車も駅のホームの通勤ラッシュ時の危険な状態も放置しています。

要するに東京メトロは利用者へのサービス向上をしないで、子会社との天下りネットワークを作り上げ、2100億円の剰余金を使ったサイドビジネスに勤しんでいるのです。2011年3月9日の国土交通委員会で上記の事実を厳しく指摘し、「カネがあるなら利用者のために使うべき」と求めました。

利用者へのサービス向上の最たるものが「経営統合・一元化」でしょう。これまで国は都営地下鉄が約1兆円の長期債務を抱えている事を理由に経営統合に難色を示し続けてきました。都民の中にも都営地下鉄が大赤字の経営をしているとの誤解がありますが、事実

は違います。都営地下鉄は2006年から経常損益を黒字化し、今や6年連続の黒字経営になっているのです。

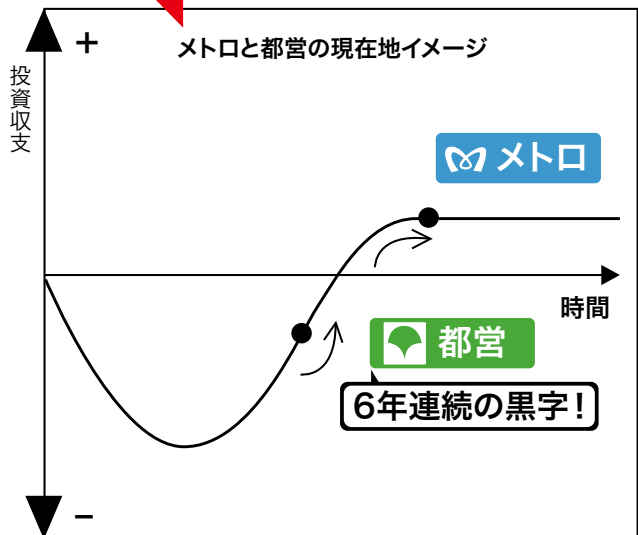
そもそも営団の設立は1941年、都営は1958年、営団だけでは新線建設のニーズに対応できないので、国が建設免許を都に譲渡して都営地下鉄が17年遅れで参入した経緯があります。グラフを見れば分かる通り、東京メトロと都営地下鉄の現在の経営状況の違いは、要するに17年遅れで建設投資を回収していく過程のタイムラグにしか過ぎません。その証拠に近年では都営がメトロを大幅に上回るペースで長期債務残高を削減しています。

東京メトロのキャッシュフローは1400億円、都営地下鉄は600億円、合計2000億円。長期債務はメ



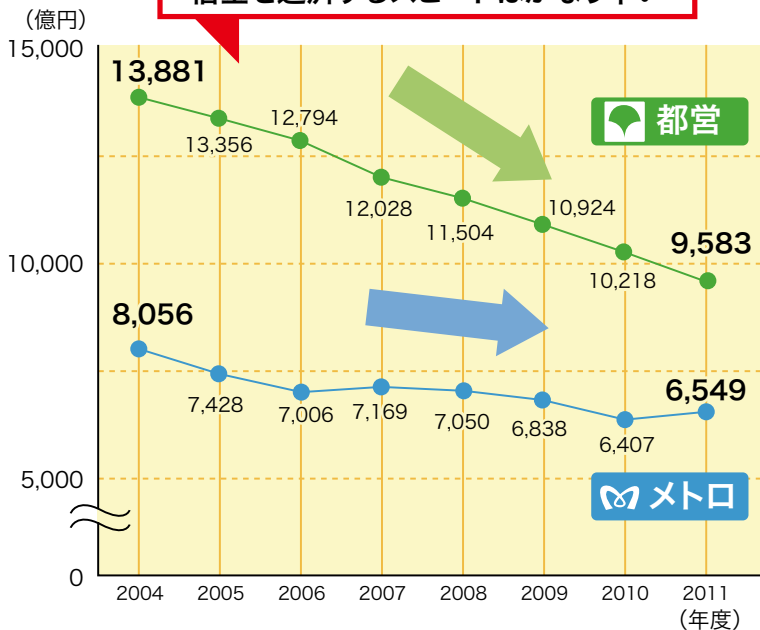


メトロと都営の経営指標上の差異は、投資回収のタイミング差の問題に過ぎない



(出典:猪瀬直樹氏著・「地下鉄は誰のものか」)

都営はメトロより借金が多いが、借金を返済するスピードはかなり早い



江東区の悲願、住吉～東陽町～豊洲を結ぶ地下鉄8号線延伸路線構想



地下鉄8号線延伸路線構想



猪瀬直樹氏の著書「地下鉄は誰のものか」(ちくま新書)

都議時代から気脈を通じる猪瀬直樹都知事と強力タッグを!

トロが8000億円、都営が1兆2000億円、合計2兆円。両社のキャッシュフローを合わせれば10年で長期債務を完済できる計算になります。まるで不可能であるかのように言われる「地下鉄の統合・一元化」ですが、上記を見ると十分に可能であり、むしろ統合・一元化した方が利用者のためになるのが良く分かります。これを見事に論じ上げたのが猪瀬知事の副知事時代の著書「地下鉄は誰のものか」(ちくま新書)です。

江東区内の豊洲～東陽町～住吉を走る地下鉄8号線の建設計画も、なかなか着工に到らない状況がこれまで続いてきましたが、統合・一元化によって運

賃収入でため込んだ2100億円の東京メトロの利益剰余金を新線建設に振り向ける可能性も出てきます。また、ニューヨークの地下鉄は24時間運転しており、世界の大都市では地下鉄の深夜運転が当たり前です。せっかく安全な東京の街ですから、夜の時間帯の交通面での制約を取り除く事が観光振興や経済活性化にも資するものと思います。地下鉄の統合・一元化によって目に見える利用者サービス向上として地下鉄の24時間運転を目指したいと思えます。

「東京地下鉄株式会社法」では国が保有する東京メトロ株を「できる限り速やかに売却する」と定めています。国保有株式の売却により東京メトロが単独で株式上場すれば、統合・一元化の機会を逸する事になってしまいかねません。現在、都は「東京地下鉄ホールディングス」という持株会社を作り、国から東京メトロ株の譲渡を受けた上で、都営地下鉄との経営一元化を実現する計画を示していますが、国は重い腰を上げようとしません。ここは国会で私が猪瀬知事の側面支援をしなければなりません。

猪瀬知事も共闘しながら、地下鉄8号線という江東区の課題実現のためにも、「地下鉄の統合・一元化」に取り組んでいきます。

# 大鵬さん、市川團十郎さんを悼む

元横綱大鵬の納谷幸喜さんが亡くなりました。言わずと知れた「巨人・大鵬・玉子焼き」の昭和を代表する大横綱です。現役引退後は江東区清澄に大鵬部屋を開き、地域の人々をちゃんこ会に招いて、地元の親方として親しまれました。私も二代にわたるお付き合いで、平成22年の柿沢未途後援会総会にもご出席頂きました。平成20年には江東区名誉区民に表彰されています。歴代横綱に相撲道を教えるご意見番でもあり続け、亡くなる直前にも白鵬関が訪ねてこられたそうです。2月25日には首相官邸で国民栄誉賞の授与も行なわれました。

歌舞伎界の顔である市川團十郎さんも亡くなりました。日本橋育ちの亡き父・柿沢弘治は江戸浄瑠璃・河東節十寸見会の一員として歌舞伎座の「助六」の舞台上で御簾の内から歌うのを誇りにしていました。その中で市川團十郎丈との交流が生まれ、父の葬儀にもご参列頂きました。食道癌の手術で声の出なくなった父に思う存分、歌ってもらいたいと河東節の衣装で旅立たせましたので、今頃、どこかで團十郎さんに会っ

て共演しているかもしれません。

日本を代表するお二人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

▶平成22年に開催した「柿沢未途後援会総会」壇上から激励を大鵬さんに頂きました。



▶平成21年、故・柿沢弘治市川團十郎さんに、在りし日の別れの会にて。

## 福成寺、再訪

3月3日、思い立って京都の福成寺に道前宗閑老師を訪ねた。ここで修行をしたのも5年前になる。脚の軋むような坐禅の日々を送り、さらに滋賀県の永源寺の僧堂に移って雲水さん達と同様の厳しい修行生活を過ごした。再起にあたり「夢」という言葉を私に贈ってくださった臨濟宗永源寺派管長の篠原大雄老師が遷化(=逝去)され、道前宗閑老師が新しい管長として入山される事になった。多くの方々とのご縁が今の私を形づくっていると改めて感じる。



個人的な

## お知らせ

昨年12月の衆院選と同時に結婚いたしました。相手は野上ゆきえ・東京都議会議員です。元々、入籍を予定していた昨年12月3日に解散総選挙が後から重なり、期せずして出陣式で結婚の発表をするというドラマチックとなりました。はからずも「結婚」と「当選」という二重の喜びを味わう事となり、皆様にも心より御礼申し上げます。改めて6月に「結婚報告会」を開きますのでご案内申し上げます。



予 告 柿沢未途後援会 主催 柿沢未途君の結婚を祝う会  
平成25年6月5日(水) 18:30 開会 会費: 8,000円(予定) 祝う会  
ホテルイースト21東京1F大ホール